

平成25年度「基礎・基本」学力定着状況調査の結果について

平成25年6月11日（火）に5年生を対象として実施した「基礎・基本」学力定着状況調査の結果が公表されました。この「基礎・基本」定着状況調査は、広島県が県内の公立小中学校の児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに思考力・表現力などの状況を把握する目的で毎年実施されています。また、同時に児童アンケートも実施し、児童の生活や学習に対する意識や実態の把握にも努めています

今年度の学力定着状況調査と児童アンケートの結果は次のようになりました。

1【学力定着状況調査（学力テスト）の結果より】

	国語科（平均点）	算数科（平均点）	理科（平均点）
広島県平均	70.1	69.8	61.3
三原市平均	74.2	72.0	62.8
南方小学校	89.5	85.4	81.0

本年度の結果には大きな伸びが見られます。基礎・基本の力が定着しているといっただけでなく、その中でもいくつかの課題が見られます。

通過率が低かったのは次の通りです。

国語科	・ 2つの推薦文を読み比べ、推薦している対象や理由をとらえることができる。（通過率 40.4%）
算数科	・ 面積の問題で、2つの図形の面積が等しくなる理由を説明することができる。（通過率 46.2%） ・ 3通りの買い物の仕方の中から、最も安くなる買い方を選択し、安くなる理由を説明できる。（通過率 46.2%）
理科	・ 直列つなぎと並列つなぎのちがいがわかる。（通過率 50%） ・ 湯気と水蒸気の違いが理解できる。（通過率 40.9%）

各教科に共通していますが、「自分の考えを論理的に説明する（記述する）」という力にまだ課題があります。しかし、これは5年生に限ったものではありません。5年生に現れている様々な課題は、私たちの日々の指導の結果であり、他の学年にも共通するものであると捉えています。今後、こうした課題を克服するための重点的な手立てを全学年で講じ、早期に改善していきたいと考えております。

2【児童アンケートの結果より】

学習アンケートより

- ・ 見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいかを考えている。（肯定的評価：36.4%）
- ・ 自分の考えや意見を具体的な例を挙げ順序に気をつけながら話しています。（肯定的評価：22.7%）

生活アンケートより

- ・土日にテレビやゲームをどのくらいしていますか。(4時間以上：59.1%)
- ・普段家でどのくらい勉強していますか。(30分～1時間：45.5%)

学習アンケートからは「表現力不足」という課題が見えてきます。思いをしっかり表現する。効果的に表現する。といった力を育成していく必要があります。

また、生活アンケートからも、テレビやゲームが子どもたちの余暇の多くの部分を占めていること、家庭学習の時間が不足しがちであることなどの課題が浮かび上がっています。

これらの課題に対しても、家庭と連携しながら改善を図っていきます。

3 今後の取り組み

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（国語科）

- ◎ 大切な部分だと思うところに線をひかせたり、つながる文を矢印でつないだりさせながら、要点を読み取らせるようにする。
- ◎ 自分が書いた文章を読みなおさせたり、条件に合っている部分にはチェックを入れたりさせながら、問われている文章になっているかどうかを確認させる。
- ◇ 朝の論理タイムで論理スキルブックに取り組んだり、サザンスタイル・考え方のツールを徹底させ、考えの根拠を持たせたりするようにする。
- ◇ 新聞記事をファイリングし、内容を読み取った感想を書かせたり友だちの感想と比べたりさせる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（算数科）

- ◎ 1 cm^3 , 1 m^3 , 1 km^3 など、基準になる広さを具体物で示しながら実感させる。日常生活の中でも、ゲーム感覚で楽しみながらできるように、意図的に組み込んでいく。
- ◎ 操作の図形を配布し、実際に折ったり、切ったり、動かしたりさせながら図のイメージをつかませるようにする。具体物がなくても、もとの図形に補助線を書き込ませたり、長さを書き込ませたりする。
また、発表時には必ず図を使って、長さを示しながら式の説明をさせる。
- ◇ 修学旅行計画や日常生活の場面を利用して、選択した理由を根拠をもとに説明させる。次に、その説明内容を振り返り、説明に過不足がないかを確認することで、より良い説明にしていく。
- ◇ 面積を計算で求めるだけでなく、底辺と高さが分かれば面積が比較できることを、さまざまな三角形から考えさせるようにする。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（理科）

- ◎ 課題を明確にし、課題についての予想をさせ、それに基づく実験をさせるようにする。
- ◎ 実際に実験をするだけでなく、実物より大きな掲示物を作成するなどして目で見てよく分かるような工夫をする。
- ◎ 科学レポートの作成を通して、科学的な思考力を育てる。

児童質問紙より（生活・学習面より）

【学習の課題】

○自分の考えや意見を、具体的な例を挙げ順序に気をつけながら話すこと。（22.7%）

【取組み】

○本郷スタイルの徹底と、考え方のツールを利用して、筋道を立てて考え、自分の言葉で表現する力を身につけさせる。

【生活の課題】 生活アンケートより

○土日にテレビやゲームをどのくらいしていますか。（4時間以上：59.1%）

○普段家でどのくらい勉強していますか。（30分～1時間：45.5%）

【取組み】

○参観日の個人懇談等で保護者啓発を行う。（家庭での過ごし方について）

○学級で家庭学習の習慣化の大切さについて話し合う。

